

「有病者の歯科治療」 「義歯診療」 「訪問歯科」 「嚥下診療」

高齢者歯科のエキスパートを目指そう



ようこそ高齢者歯科学講座へ

高齢者歯科講座の前身は歯科補綴学第一講座であり、全部床義歯の臨床が中心でした。来るべき超高齢社会へ対応すべく、2000年には高齢者歯科学講座へと生まれ変わり、現在に至ります。

その臨床は、義歯診療は勿論のこと、有病者歯科、嚥下診療、訪問歯科診療と非常に幅広く行なっています。また、専門外来としてドライマウス外来や睡眠歯科外来を行なっており、高齢者特有の疾患に対応しております。

これまで歯科は、補綴、歯内治療、矯正など、その治療方法によって細分化され、その専門性を高めてきました。高齢者歯科という分野は、名前の通り、治療法ではなく年齢で区分されています。つまり、高齢者の歯科疾患に対して、様々な治療手段を用いて、総合的に治療する分野が、この高齢者歯科であります。まさに、これから高齢化が進む我が国において、最も必要とされる分野であると確信しております。

ぜひ高齢者歯科学講座を志望し、研鑽を積んで、世界に先駆けて高齢化が進む我が国における歯科医療の将来を担って頂きたいと願っております。



大阪歯科大学 高齢者歯科学講座
教授 高橋一也

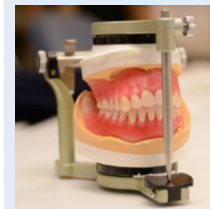
高齢者歯科 診療内容

一般歯科診療



このような患者さんに対して、抜歯、歯内治療、保存治療、クラウン・ブリッジ、部分義歯、全ての治療を総合的に行います。

義歯診療



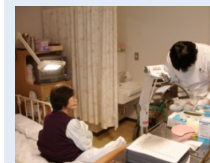
義歯治療、特に総義歯臨床に力を入れています。

有病者歯科



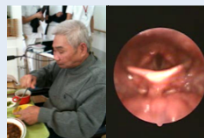
麻酔科と連携して、モニター管理を行いながら、有病者の歯科治療を行っています。

訪問歯科診療



関西電力病院、大手前病院への訪問歯科診療を行っています。

摂食・嚥下診療



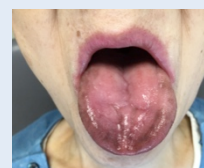
嚥下内視鏡検査を用いた嚥下障害の評価、リハビリテーションを行っています。

口腔機能低下症



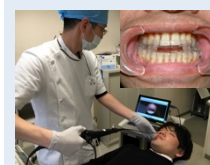
2018年度より保険収載された「口腔機能低下症」に対する検査・評価を行っています。

ドライマウス外来



眼科と連携し、口腔乾燥症やシェーグレン症候群の患者に対して、投薬治療、リハビリ、ポリファーマシーへの対応、カンジダ治療などを行っています。

睡眠歯科外来



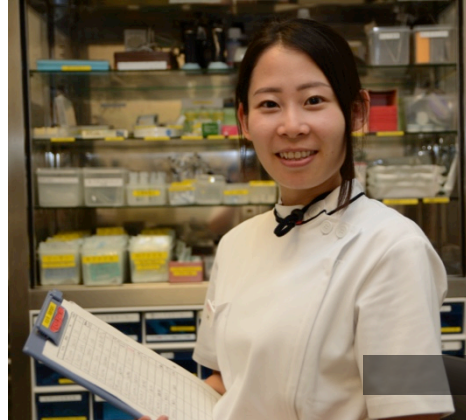
周辺の医科病院と連携し、睡眠時無呼吸症に対し、内視鏡検査による病態・治療法の適応評価、口腔内装置治療を行っています。



「一般歯科が総合的に学べる」

研修医は早く一般的な歯科治療をマスターしたい気持ちが強いと思います。私も、補綴だけではなく、一通りの歯科治療を学ぶことが高齢者歯科を選んだ理由です。とにかく症例数が多いので、研修期間中に一通りの歯科治療を経験することができました。

1年目 研修医



「大学でしか学べない特殊外来」

せっかく大学で研修するのなら、大学病院でしかやっていない診療を見たい！今後の高齢化を見据え訪問診療を経験したい！それが、私が高齢者歯科を選んだ理由です。訪問診療や、ドライマウス外来、睡眠歯科外来などの専門外来で特殊な症例を数多く経験することができました。大学を離れてからも、生かすことができていると思っています。

1年目 研修医

「高齢者歯科学講座を選んだ理由は何ですか？」

「高齢者とのコミュニケーション能力」

学生の頃から、患者さんとお話しするのが好きでした。高齢者では軽度認知症、難聴などのためコミュニケーションが難しい方が多いのが特徴です。病態・治療説明時には高度なコミュニケーション能力が求められます。日々、患者さんと楽しく会話しながら、コミュニケーションスキルを磨いています。



2年目 病院医員

「高齢者の全身疾患の知識が身につく」

高齢者に合併する全身疾患を把握、管理した状態で歯科治療ができるようになりたいと思い選びました。定例の講座会で、全身疾患を勉強する報告会があり、それに参加するだけで最新の疾患情報がアップデートでき、自分の患者の歯科治療に生かすことができます。高齢化が進む中、全身疾患の知識は開業前に必ず身につけておきたいと思います。



6年目 病院医員



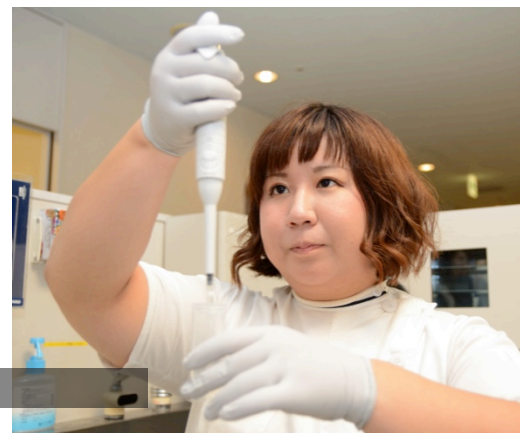
「研究を通じて口腔機能の低下を防ぐ」

研修医時代、訪問診療に行く機会があり嚥下機能が低下して食事が難しくなっている患者を多くみました。ここまでの状態になる前に、進行を防止する方法はないのか？それを解明するために大学院に入りました。今は、口腔機能と嚥下機能の関連性について研究しています。嚥下の研究をすることで、嚥下診療も学べます。臨床と直結する研究ができることも高齢者歯科学講座の魅力だと思います。

4年目 大学院生

「世界最先端！基礎研究の魅力」

研修医は高齢者歯科に在籍。その時に、教員から研究の話しを聞いて興味を持ちました。中でも、基礎研究は医療を根本から変える力を持っており、新発見＝世界最先端！という所に魅力を感じ大学院に進みました。また基礎研究だけではなく臨床もできることも魅力です。歯肉溝浸出液のエクソソームから、全身の様々な病気を発見する方法について研究しています。



3年目 大学院生



義歯の治療により噛める喜びをサポート

食事の楽しみは、何事にも代えがたいものです。そして咬む機能の大切さは、歯を失って初めて分かります。良い義歯は患者に「食べる」という生きがいを与えてくれます。義歯の診療、特に総義歯臨床は奥深く、技術を習得するには、大学での系統だった研修が必要です。是非、一緒に総義歯臨床を極め、患者さんに噛める喜びを、再び味わって貰いましょう。

講師 川本章代

高齢者に寄り添う歯科医療

高齢者では、歯や口腔のみを診るのではなく、合併する全身疾患も把握することが大切です。最近ではフレイル（虚弱）という概念が提唱されており、身体・精神・社会面の虚弱が高齢者にはあると言われています。高齢者歯科医療では、全身管理、フレイルの発見、口腔機能低下予防など、高度な医療が求められるようになってきました。日々アップデートされる高齢者歯科医療を大学で実践しています。

助教 楠尊行



現場を牽引する歯科医師からのメッセージ



高齢者の口腔の機能障害を治療 —ドライマウス・無呼吸・嚥下障害—

ドライマウス外来、睡眠歯科外来、嚥下診療を担当しています。このような患者さんに対して、内視鏡検査、ポリファーマシーへの対応、口腔内装置、機能補綴、リハビリテーションなど様々な新しい臨床を行なっています。高齢者歯科分野は、新たなステージに入りました。いわば黎明期です。一緒に、新しい高齢者歯科医療を切り開きましょう！

助教 奥野健太郎

地域のニーズに合わせた訪問歯科診療

宝塚市で2代にわたる歯科医院にて「地域の皆様の口腔の健康を守る」を理念とした臨床を実践しています。ここ宝塚市も高齢化により、通院困難な方が多くなってきました。地域のニーズが変化し、歯科訪問診療の依頼がかなり増え、大学に残って身につけた知識をベースとして、訪問での嚥下診療やEnd of life careを実施しています。現在も講座に非常勤講師として籍をおき、知識をアップデートしています。

非常勤講師 芦田貴司(宝塚市)



チーム医療で最先端の高齢者医療を実践

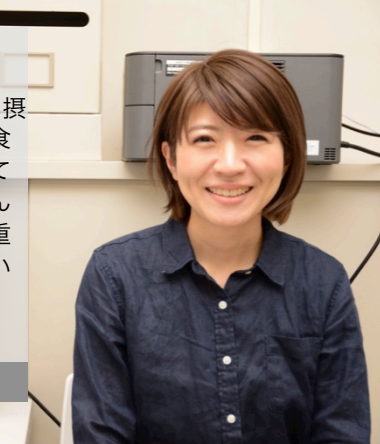
当院では管理栄養士や看護師が在籍しており、胃ろうなど、口から食べることができない人のための摂食嚥下リハビリテーション、食事指導や食事介助指導を行なっています。従来の歯科医院の領域を越えた仕事ですが、チーム医療で最先端の高齢者医療を実践しています。今後は、高齢者の在宅医療などもふまえ、地域社会のニーズに敏感に応える必要があると考えています。

非常勤講師 児玉秀樹(西宮市)

歯科が行う栄養サポートを目指す

2018年まで講師として在籍していました。講座に入り、摂食嚥下という学問との出会いが私の人生を変えました。食と、暮らしを守ることが歯科医の仕事であると気付かせてくれました。臨床では、体重・筋力が減少して患者さんとの出会いがあり、嚥下機能の回復だけではなく栄養の重要性を感じ、今は、地域で歯科が行う栄養サポートについて実践する準備をしています。このような人生を変える「気付き」が得られることも大学の魅力だと思います。

非常勤大学院講師 渋谷 友美



Q1 高齢者歯科を選んだのはどのような理由が多いでしょうか？



一般歯科治療が全般的に研修できるという理由が一番多いです。また講座がアットホームですので、雰囲気が良い！という事も選ばれる理由に挙げられます。

Q3 どのような人が高齢者歯科に向いていますか？



高齢者歯科の診療は、患者さんとのコミュニケーション時間が多いことが特徴の一つです。高齢の方と接するのが好きな人、患者のQOLに関心のある人が向いていると思います。

Q5 講座の研修プログラムについて教えてください。

研修医は、2人の指導医について学びます。病院医員は多くの患者を受け持っており、月に10人の新患配当があります。月に2回、定例の講座会があり、全身疾患に関する勉強会や症例検討会を行なっています。



Q8 女性歯科医師も働きやすいでしょうか？



高齢者歯科学講座では、現在、女性の比率の方が多く、女性の先生も働きやすい環境と言えます。産休・育休を取りながら働いている女性歯科医師の先生も居られます。

Q2 どのようなライフスタイルを送っていますか？

診療時間である17時までは臨床に専念しています。その後は、各々自由です。研究をしている先生も居れば、趣味やライフワークを楽しんでいる先生など、メリハリがある先生が多いのが特徴です。



Q4 研修医で高齢者歯科を選択するメリットは？

一番は、患者数が多いことです。病院に来院される70歳以上の患者さんは全て高齢者歯科で診ます。配当患者も非常に多いため、研修機関中に一通りの症例を経験できると思います。



Q6 どのような認定医・専門医が取れますか？

高齢者歯科では様々な認定医・専門医を取得できます。老年歯科学会、補綴歯科学会、睡眠歯科学会の認定医・専門医を取得できます。条件が様々ですので、詳しくは別項で解説します。



Q9 今後のニーズはどうでしょう？

ご存知の通り、現在日本は世界に先駆けて高齢化が進んでいます。う蝕・歯周病の罹患率が減少する中、高齢者歯科の分野は、今後ますますニーズがある分野と言えます。訪問歯科診療、嚥下診療などに特にニーズが高まると思います。



Q7 他大学からでも入れますか？

もちろん入れます！当講座は、北海道医、奥羽、岩手医大、神歯、明海、日本歯科、朝日、阪大、徳大、広大、福岡歯、九州歯、など、他大学出身者も多いことが特徴です。



Q10 内視鏡技術を学ぶことはできますか？

摂食・嚥下評価としての内視鏡は勿論のこと、睡眠歯科外来でも上気道評価に内視鏡を使用しています。内視鏡検査の経験を積むことが可能です。



Q&A


高齢者歯科学講座の
疑問にお答えします。




様々な認定医・専門医を取得できるのが高齢者歯科学講座の魅力です。

大学に残る利点として、認定医・専門医が取得できることがあります。認定医・専門医とは、学会が定める制度のことであり、専門的な知識・技術を習得した証です。今後、歯科医療は専門性が重視されるようになり、患者さんも専門医かどうか？で歯科医院を選ぶ時代になります。開業し、地域で患者を獲得するためにも認定医・専門医はアドバンテージになります。高齢者歯科の分野では、様々な認定医・専門医が存在します。取得のためには、学会によって様々ですが、学会が認定した指導医、医療機関で数年間の臨床経験を積むことが条件となり、最終的には学会が定める試験に合格することが必要です。当講座では、老年歯科学会の認定医、専門医、摂食機能療法専門歯科医師、補綴学会の専門医、睡眠歯科学会の認定医の取得が可能です。ぜひ、高齢者歯科学講座に残り研鑽を積みながら、認定医・専門医の取得を目指して下さい。


私たちが学会認定の指導医です。




教授 高橋一也
日本補綴歯科学会 指導医
日本老年歯科医学会 指導医



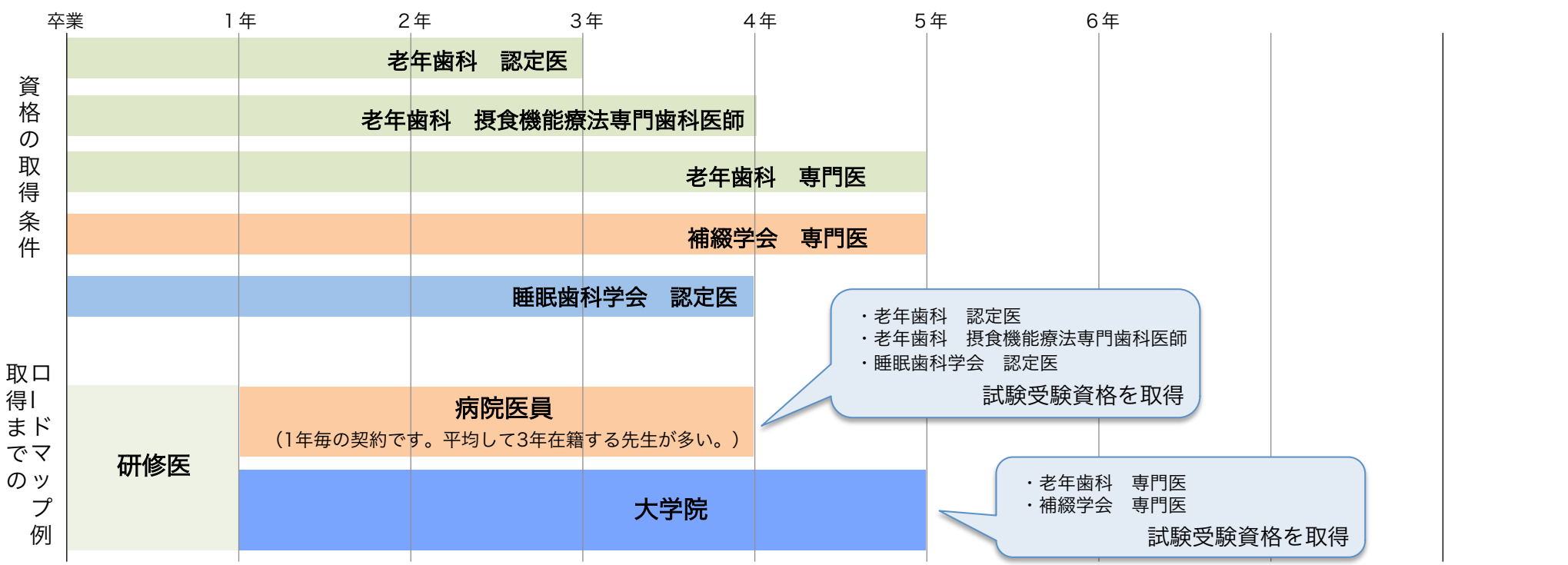
助教 井上太郎
日本老年歯科医学会 指導医



講師 川本章代
日本老年歯科医学会 指導医



助教 奥野健太郎
日本睡眠歯科学会 指導医



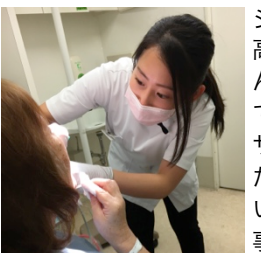
研修医の1週間に密着

月 曜日「睡眠歯科外来で診療」



睡眠時無呼吸の患者の診察日。医科から沢山紹介されてきます。治療マウスピースの技工もようやく一人で出来るようになった！

水 曜日「ドライマウス外来で診療」



シェーグレンsyndなど、高齢者では口の乾燥で悩んでいる患者さんが多くて驚き！私も唾液腺マッサージを担当。口が潤ったよ〜って感謝され嬉しい！やっぱり唾液って大事！

金 曜日「学会参加のため東京へ」



学会への参加も大学ならではの遊びじゃなく、仕事で色んな所に行けるって楽しい。先輩は海外にも出張するんだとか。羨ましい！私もいつか海外で活躍したい！

日 曜日「研修医仲間とディズニーランド」



沢山勉強した後は、めいいっぱい遊ぶ！学会が終わった後は、同期でディズニーランドへ。よく学び、よく遊ぶが高齢者スタイル。苦楽を共にした仲間と過ごす最高の休日！

火 曜日「高齢者の初診担当」



今日は、初診・救急担当。次から次に患者さんが来院紹介！指導医と共に、どんどん患者をみます。多いときは1日に20人！

木 曜日「訪問歯科診療へ」

関西電力病院のリハビリ科病棟へ訪問診療。入院患者の義歯治療、抜歯、根治、ベツトサイドでの口腔ケアなど、沢山診療しました。



土 曜日「学会会場で勉強」

色んな大学から沢山の先生が勉強に来てのにビックリ！気になる発表に質問して、色んな先生と知り合いになれました♪



上嶋佑実
研修医1年目

厳しい指導医に振り回されながらも、天性の明るさで日々を楽しみ乗り切っている。

大学院生の1週間に密着

月 曜日「高齢者歯科で診療」



この日は診療日。研修医時代から診ている患者の義歯治療です。難症例でしたが、自分が作った義歯で何でも食べられるようになって嬉しい！

水 曜日「樟葉キャンパスで研究」



研究日は、樟葉キャンパスへ。細菌学講座の先生に指導を受けながら研究。ようやく成果が出てきたので、最近研究が楽しくなってきました！

金 曜日「研究の打ち合わせ」



細菌学講座の指導医の先生と研究の打ち合わせ。私の研究がまた新たな展開に！ノーベル賞も近い！？

日 曜日「休日は友達とBBQ」



今週はヘビーな週だった！休日は、友達とBBQでストレス発散！英気を養い、また来週から頑張るぞー！

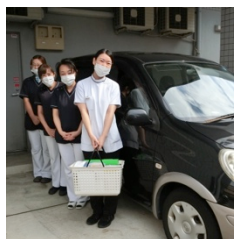


真砂彩子
大学院3年目

持ち前のバイタリティーで、臨床も研究も両立させる頑張り屋。お酒に強い。

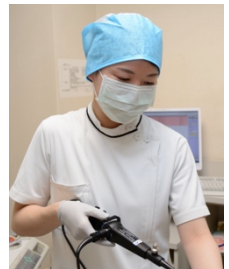
火 曜日「開業医でアルバイト」

週に一回のアルバイト訪問診療の日。院長先生は講座の先輩で、色々教えて貰えてすごく勉強になる。大学とは違った臨床を学べる日です。



木 曜日「講座会で研究発表」

午前中は外来で内視鏡検査、午後からは関電病院へ訪問診療、そして夕方からは大学院での研究成果の中間発表。診療に研究に大忙しの日でした。



土 曜日「勉強会に参加」

上司に誘われて、睡眠医療の勉強会に参加。私達以外は、医科の先生ばかり！初耳の事ばかりで、口腔と全身の関連性を再認識！

